

がん患者様の苦痛を取り除くため、新たに「緩和ケアセンター」を設立

緩和ケアセンター センター長 長櫓 巧 医師



様々な分野の専門家からなる「緩和ケアセンター」

「緩和ケアセンター」は、平成19年11月に設立された新しいセンターです。各分野の専門の医療スタッフが、がんに伴う痛みなどのいろいろな苦痛を取り除くことを目標にしています。当院では当初、麻酔科の「ペインクリニック」で、がん患者様の痛みの治療を行っていましたが、平成15年3月から、麻酔科医師、精神科医師、看護師が「緩和ケアチーム」として活動を始めました。昨年4月に「がん対策基本法」が成立し、緩和医療が重要視されるようになっています。昨年1月に当院が「がん診療連携拠点病院」の指定を受けたこともあり、さらに緩和ケアを充実させるため、セン

ターとなりました。センターとなったことで、これまでの麻酔科医師、精神科医師、看護師に加え、薬剤師、メディカルソーシャルワーカー、理学療法士、管理栄養士、腫瘍センターの医師が参加しています。これまでに以上に、患者様の総合的なケアができる体制になりました。

当センターでは、がんによる痛み、全身倦怠などの体の苦痛、不安、うつなどの精神的な苦痛を抱えた患者様が対象となります。また、がんの患者様には、食物を食べられない辛さや、薬について不明なこと、経済的なことまで、いろいろな心配事や悩みがあります。それらを主治医、看護師、当

センターの多職種のスタッフが集まり、知恵を出し合って、解決していきます。患者様一人ひとりのニーズに応え、地方でも最先端の治療、ケアができるようにしたいと思っています。

現在は、入院患者様のケアが主ですが、これからは退院される方、在宅で治療される方のサポートを進めていき



PROFILE

ながろたくみ◎大学院医学系研究科 生体機能管理学分野教授。1974年岡山大学医学部卒業。1976年より当院勤務。麻酔科、ペインクリニックを専門に活躍。趣味は野山を散策しながら、鳥や樹を見ること。好きな鳥はアオバズク（フクロウ科）。

いと考えています。在宅介護や治療の相談については、既に当院の医療福祉支援センターが行っていますので、連携し、継続的に最適な治療、ケアが受けられるようにしたいです。そのためにも、地域医療機関や地域病院との連携を強め、ネットワークを強化したいですね。

私は麻酔科医で、痛みの治療が専門。頭から足の先まで、あらゆる痛みが対象です。痛みがある人は話をすることが大切。その痛みを理解してあげることで、患者様が楽になることもあります。がんなどの場合、患者様ご本人だけでなく、家族の方が苦しみを抱えることも少なくありません。ご家族の方の支援、ケアも必要不可欠です。

当センターはできて間もないこともあり、課題もあります。患者様の多くの要望に対応できるよう、専従のスタッフを置き、周囲からも認められる、利用しやすいセンターにしていきたいですね。現在は、主治医からの紹介で、当センターのことを知っていただくケースがほとんどです。これからは、こちらからアピールして、おせっかいなぐらいの存在になりたいと思っています。



医療福祉支援センターと打合せ